

令和8年1月号

磯松



三島村立三島硫黄島学園

学校だより

未来への一歩をともに——三島硫黄島学園から迎える新年

校長 中村 真人

新しい年を迎え、三島硫黄島学園にも清々しい空気とともに、新たな学びの季節が訪れました。学校には子どもたちの元気な声が戻り、校舎内には活気が満ちています。

2025年の一年間、児童生徒の皆さんはそれぞれの場で多くの経験を積み重ね、仲間と支え合いながら成長してきました。その一つひとつの努力が確かな力となり、今の皆さんを形づくっています。

2026年は、これまでの歩みをさらに広げ、自分の可能性に向かって果敢にチャレンジする一年にしていきましょう。本校が育みたいのは「自律した学習者」です。その土台となるのが「主体的に学ぶ姿勢」「互いを尊重し励まし合う関係」「地域とともに育つ心」です。これらは未来社会を生き抜くうえで欠かせない力であり、日々の生活の中で意識し続けることで、皆さんは確実に新しい自分へと成長していきます。

挑戦には勇気が必要です。思いどおりにいかず、壁にぶつかることもあるでしょう。しかし、一步を踏み出さなければ景色は変わりません。失敗を恐れず、試行錯誤を重ねながら進む過程こそが、皆さんの未来を豊かにしてくれます。そして、その道のりは決して一人で歩むものではありません。仲間、家族、先生、地域の皆様の温かな支えが、皆さんを確かに後押ししてくれます。

2026年が、三島硫黄島学園の児童生徒一人ひとりにとって、自らの夢や目標を見つめ直し、その実現に向けて踏み出す力を育む一年となることを期待しています。

保護者・地域の皆様、本年もどうぞ
よろしく願いいたします。



<3学期始業式> ~新たな目標を胸に~

8日、冬休みを終えた子どもたちが登校し、3学期がスタートしました。始業式では、5年生と7年生の児童生徒が、「給食を残さず食べる」「早寝・早起き・朝ご飯の習慣を大切にする」「宿題カレンダーを作成し、毎日2時間の家庭学習に取り組む」など、新学期の抱負を堂々と発表してくれました。

3学期は一年のまとめの時期です。一人ひとりが立てた目標に向かって、日々の学校生活を大切にさせていきたいと思ひます。



<クセンボで元気に厄払い!>

7日、硫黄島の伝統行事「クセンボ」が行われ、子どもたちがスツベの木を手に集落を回りました。元気な声が響き渡り、島に笑顔と活気を届けてくれました。



<子ども会の餅つき参加>

24日に、子ども会の餅つきに参加し、子どもたちは元気いっぱいに杵をふるいました。つきたてのお餅を味わいながら、笑顔あふれる楽しいひとときを過ごしました。



<なわとび発表会に向けて>

2月7日(土)に、なわとび発表会を行います。児童生徒は、朝の時間を中心に、練習に励んでいます。できなかった技ができるようになったり、友達と声を掛け合いながら取り組んだりする姿から、子どもたちの成長を実感しています。



<2月行事予定>

- 3日(火) 百人一首大会
- 4日(水) 百人一首大会
- 7日(土) なわとび発表会
- 13日(金) 授業参観・保護者会・学校保健委員会
しおかぜ留学制度実施委員会
- 17日(火) クラブ活動
- 18日(水) 集金日(前期課程)



インスタ
フォロー
してね!

MISHIMAKK01



みしまっこ
日記も
よろしく